

2024年度マテリアリティ（重要課題）

資源の有効活用

産業副産物の有効物利用

●各工場・各事業所から排出される産業副産物の有効物利用促進(資源の循環利用)

各工場・各事業所から排出される産業廃棄物の再利用等を行い、資源の循環利用を促進

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・ライムケーキ(炭酸カルシウムを主成分とする製糖副産物)を、土壌改良剤として農地に還元 ・石炭灰をセメント原料等として有効利用	産業廃棄物の有効利用率	95%以上	95%以上	95%以上

水資源使用量削減

●各工場・各事業所における水資源使用量を削減

各工場における製造工程等で使用する水資源の利用を削減

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・冷却塔導入による工業用水の有効利用	取水量削減率 (2013年度比)	8%	10%	10%
・原料てん菜貯蔵パイル(貯蔵堆積場)での散水を削減	散水量削減率 (2020年度比)	50%	50%以上	100%

省エネ・省人省力・省資源

●原料輸送から販売において、効率化を目指し、省エネ・省人省力・省資源を図る

原料や製品の輸送過程における効率化を促進

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・原料てん菜輸送車の1台当たりの輸送量増加	大型車両割合	42%	50%	55%
・工場への直接搬入を増やし、構内搬送の削減	原料の直接搬入割合	72%	78%	78%

原料の貯蔵管理作業における省力化を促進

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・原料てん菜貯蔵パイル(貯蔵堆積場)の品質管理にデジタル技術(無線温度計)を活用	温度管理に要する作業削減時間 (2020年度比)	100時間削減	100時間削減	100時間削減
・体積測定用アプリを使い、タブレットで農家貯蔵堆積原料の残量を測定	-	体積測定方法の精度向上	実装開始	全面導入

各事業所における資源の循環利用や従業員の意識浸透を促進

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・事務用品(クリアファイル、クリップ等)の再利用	-	再利用コーナーの設置・管理	再利用コーナーの継続運用	再利用コーナーの継続運用
・ポスター、掲示板、社内報等による節水・節電の啓蒙活動	-	全社での意識浸透	各取り組みの継続実施	各取り組みの継続実施

脱・省プラスチック

●当社製品に使用されるプラスチック・ビニールなどの包装容器類について、削減並びに代替資材類の使用を目指す

砂糖製品の包装資材の見直しや、当社で開発した紙製育苗鉢の普及により、脱プラ意識の向上を促進する

主な取り組み	評価指標	目標		
		2024年度	2027年度	2030年度
・砂糖製品へのバイオポリエチレンの採用	-	バイオマス10%包装品一部 ユーザーへのテスト納入継続、 バイオマス比率UP素材（20%） のテスト製造	家庭用小袋の全面移行 業務用製品の包装資材の見直し	業務用製品への環境素材の導入
・含蜜糖リニューアル品への環境対応素材の採用	-	バイオマス比率UP素材の調査	バイオマス比率UP素材の採用	さらに環境負荷軽減となる包装 資材の採用
・紙筒既存製品の普及 ・生分解性を高め環境負荷を低減する原紙や規格 の新規開発 ・紙筒製品使用へ切り替える農家への栽培技術の 供与 ・農業界での認知度の拡大、消費者を含めた 脱プラ意識を高める	-	紙マルチの普及推進 （社外製品） 新素材チェーンポットの供給開始 による環境負荷低減 紙筒ホームページリニューアルに より認知度の拡大と新たな顧客の開拓	新素材チェーンポット 普及促進	新素材チェーンポット 普及促進